

にっこり笑顔

発行：校長 菅 昌徳



<不安から自信へ>

今年は、例年に比べてとても早い梅雨入りを迎え、「雨の日が長く続くのかな？」と気持ちも沈みがちに6月がはじまりました。時を同じくして、高等部では、1年生は校外実習（1週間）、2・3年生は現場実習（2週間）が始まりました。学年ごとに決意表明をする顔は、「緊張と不安がMAX!」と言わんばかりにカチカチで表情は硬く、話す言葉にも自信のなさを感じました。それぞれに力を発揮してやり遂げてくれることを願いながら、生徒たちの背中を後押しする思いで声掛けを行い、送り出しました。みんな大丈夫かなと思いながら実習先に出向くとそこでの生徒たちの顔は、前日の様子とは全く違い、自分の役割ややるべき仕事分かり、黙々と仕事を進めていました。また、仕事をする上で大切な「報告・連絡・相談」をしっかり意識して教師や職場の指導員とやりとりを行いながら積極的に取り掛かり力を発揮している様子を目にすることができました。

実習を終えて初めての登校、横断歩道で立哨をしている私に、これまで以上に大きな声ではっきりと「おはようございます」「行ってきます」「ありがとうございます」と挨拶をしてくれました。やり遂げたという自信に満ちた姿なのだなと感じました。

数日後の実習報告会でも、その自信は生徒たちの発表の姿に現れていました。頑張ったことやこれからの課題を具体的に周りの友達に発表することができました。

自信という心の成長が、一人一人の行動の成長につながっていくことを改めて感じました。

「体験することで自信になり、自信の積み重ねが経験として生かせるようになる」との思いを大切に、児童生徒たちと関わり、内省の育ちを図っていきたいと思います。

高等部1年生 【校外実習】



長崎大学内の清掃作業などに取り組みました。

高等部2・3年生【現場実習】



それぞれが希望する仕事に取り組みました。

【実習報告会】

